



作成：豊岡小学校

豊岡小ジュニアICTリーダーの実践

【内容】ジュニアICTリーダーの児童と情報教育主任の、ICT活用を活発にするためのミーティング。

【使用アプリ】 Google jam board

【事例紹介】

ジュニアICTリーダーと情報教育主任で、学校でのICT教育の取組や新しい企画について話し合った。話し合いにはGoogle jam boardを使用し、意見を出し合った。今回話し合った内容は、主に次の3つである。

① Chromebook活用ルールの見直し

今の使用ルールを見直し、新しく加えたらよいと思う内容を、学級の実態をもとに提案した。話し合った内容をプリント等で周知することが決まった。

② タイピング力向上のための手立て

3年生以上の児童のタイピング力向上のための意見を出し合った。タイピング大会、タイピング検定3級以上を目指すコツの教え合い等の意見が出た。

③ Chromebookでできることや、全校でやってみたい企画の提案

自主的に取り組む児童が多い「スクラッチ」や、「ピクチャーキッズ」、「Kahoot」等を使ってできること、全校でやってみたいこと等を出し合った。プログラミングを教え合う時間、クイズ大会、作品の展示会、全校でのカレンダー作り等、楽しい活動につながりそうな意見がたくさん出た。



【終わりに】

児童が主体的に ICT 機器を操作したり、デジタル社会に対応していこうと行動したりすることは、デジタル・シティズンシップ教育につながる。ICT リーダーから、各クラスの GIGA 係、そして全校児童へと、こうした活動を広げていくことで、デジタル市民の育成に努めたい。

☆教育委員会主幹講評☆

GIGA スクールも導入期から活用期に入り、主役である子どもたちが情報端末を主体的に活用していくことが求められるようになってきています。1人1台の情報端末やクラウド環境を有効に活用するには、子どもたちの主体的な活用にもつながるリーダー育成が鍵となります。今回はリーダー育成の取組の一つとして、ジュニア ICT リーダーと情報教育主任の先生が、ICT 活用を活発にするためのミーティングを実施したという内容を報告してくれました。今後も ICT リーダーが各学級の ICT 係（GIGA 係）と連携して、デジタル機器の適切な活用を推進し、活動を全校に広げ、デジタル人材の育成と郷土愛醸成を目的とした様々な取組を進めていただき、各校に紹介してもらえればと思います。